

東日本大震災とヨーロッパ —社会・生活・政治・法律の視点から

東日本大震災と津波、それに伴い福島で起きた原子力発電所の大事故は、ヨーロッパのメディアでも連日取り上げられ、各国の人びとは強い衝撃をもってこの事実を受け止めている。また、大震災をきっかけに、ヨーロッパの人びとのもつ日本や日本人に対するイメージも変化しつつあるようである。シンポジウムでは、東日本大震災が日本とヨーロッパの關係に与えた影響を、社会・生活・国民性・政治・法律などの側面から検討する。

2011年6月18日(土) 10:50~16:40 於 上智大学 (L-821)

司会：ライノルト・オブピュルス-鹿島 (Reinold Ophüls-Kashima) (外国語学部教授)
10:50~ 開会挨拶 滝澤正 (学長)、村田真一 (ヨーロッパ研究所長)

午前の部 11:00~12:35 (講演20分、質疑応答10分)

- 11:00~ エデルミラ・アマート (Edelmira Amat) (外国語学部教授) 「日本人はアジアのスペイン人だろうか？」
11:30~ 梅林テチャナ (元キエフ教育大学講師) 「ウクライナと日本に暮らして」
12:05~ ユルゲン・ウィッツシュトク (Juergen Wittstock) (慶應義塾大学講師) 「国民の生の声を・・・」

午後の部 14:00~16:40 (講演20分、質疑応答10分)

- 14:00~ 市之瀬敦 (外国語学部教授) 「1755年リスボン大地震から見えること」
14:30~ 中村雅治 (外国語学部教授) 「フランスの対応」
(休憩)
15:10~ ジャン-クロード・オロリッシュ (Jean-Claude Hollerich) (外国語学部教授) 「ルクセンブルク・EUの場合」
15:40~ ハインリッヒ・メンクハウス (Heinrich Menkhaus) (明治大学教授) 「ドイツと日本の法律」
16:10~ 自由討論

入場無料/申し込み不要

上智大学ヨーロッパ研究所

〒102-8554
東京都千代田区紀尾井町7-1
上智大学中央図書館7階
Tel. & Fax.: 03-3238-3902
E-mail: i-europe@sophia.ac.jp
<http://www.info.sophia.ac.jp/ei/>

言語：日本語(一部ロシア語・逐次通訳付き)

日時：2011年6月18日(土) 10:50~16:40

会場：上智大学 中央図書館(L-821)

 日・EUフレンドシップウィーク